



CONTENTS

2 マンション防災活動の秘訣
～顔がみえる地域コミュニティ～

3 この街にこの人あり
木嶋 真優さん
(ヴァイオリニスト)



4 5 地域のあしあと
高輪築堤と品川開発プロジェクト
～過去から未来へ～

6 施設訪問
「優っくり村高輪台」

6 地域からの情報発信
須佐 直人さんに聞く

7 子どもたちの憩いの場
港区立高輪子ども
中高生プラザ

7 私だって地域の一員！
シャロンちゃん
(オーストラリアン・
ラブラドゥードル)



8 区からのお知らせ



令和3年5月撮影

地域にパワーを発信している巨樹

旧細川邸の椎の木

(旧熊本藩 細川家)
東京都指定天然記念物(高輪1丁目)

高輪地区総合支所裏手の高台にある巨樹・椎の木は、樹齢400年以上と言われている。地下鉄が開通する前までは、樹洞にフクロウが住みついていた。以前は、現在の2倍ほどの高さがあり、約60年前に、落雷が椎の木を直撃し、木の幹が焼け焦げ瀕死の状態になったが、幸いにも翌年芽をふき、枝が出てきた。その後、幹の下部に大きな空洞があったため、外科手術が行われ、力強く再生し、地域にパワーを発信している。

(写真/平尾 文/安藤)



マンション防災活動の秘訣

～顔が見える 地域コミュニティ～



■増加するマンション居住者

高輪地区では多くの方がマンションに居住しており、今後、マンション居住者がますます増えていく事が予想されます。一方、防災への関心の高まりの中で、「マンションの防災に関心はあるけれど、どんなことをしたらいいのかわからない」という声も聞かれます。

そこで今回は、三田のマンションで防災委員会の委員長を務めている、久保井千勢さんにお話を伺いました。

■「このマンションには、備蓄がないから危ない。」

久保井さんがマンション防災を始めたきっかけは、警備員さんの言葉でした。

「警備員さんは居住者のことをよくご存じで、理事会にも防災訓練にも協力的。居住者の信頼も厚い方でした。その言葉に危機感を持った理事さんが、理事会メンバーに働きかけたところ、賛同してくれる理事も多く、防災委員会設置に向けて動き出しました。防災委員会設置に向けては『居住者全員でつくる防災』『居住者全員が防災ボランティア』と考え、過去の防災訓練参加率の高かった居住者を中心に、分譲・賃貸に関わらず広く居住者に声をかけていきました。そして『防災に関心がある人』『職場とマンションが近い人』『家族を守りたいお母さん』『地域貢献したい人』『顔見知りを作りたい人』などが集まり、平成 28 (2016) 年 3 月、防災委員会 (男性 6 名、女性 6 名) がスタート。その後もポスター掲示をして常に委員を募集しています。」

■多様な居住者が強み

「初年度は他のマンションでの成功事例を集めて考えました。安否確認カード・要支援者リスト・居住者向けや防災委員向けマニュアルなどを作成。役割分担は自分のやりたいことを自己申告する手上げ方式で、組織づくりにも取り組みました。地震発生時のとっさの対処法や、家庭の備蓄方法を分かりやすくまとめて配布するなどの啓発活動も。活動していくと、医療や介護の他、様々な専門知識や技能を持つ多様な居住者がいることが判り、これはこのマンションの強みだと思いました。例えば、英語の得意な方が英語版の防災チラシを作ってくださいました。」



■顔が見えるご近所関係づくり

以前から防災訓練は行われていましたが「顔が見える関係を築きたい」と考えて、子どもから大人まで楽しめるワークショップ形式の訓練や、備品の発電機やテントを実際に使う体験型訓練なども実施。毎月集会所で行う「みんなのカフェ」では、居住者による手話の講義や、非常食を作って食べる会などを開催。七夕など季節に合わせたイベントを通して、家族ぐるみの親睦を深めていく活動も展開しています。

「今では、居住者同士で挨拶が交わされることは、ごく自然なことになりました。」居住者同士の挨拶率が高くなっただけでなく、防災委員になってくれた方、防災士の資格を取得した方、「コミュニティが充実していて安心」と賃貸から分譲に切り替える方、資産価値の向上など嬉しい変化が起きています。



■100%の1人より、30%の人が3人

近隣マンションとの連携防災訓練も行われるまでに発展している活動の成功の秘訣を伺ってみました。

「マンション管理やマンション防災をサポートしてくれる『組合員以上理事未満』の居住者の数を増やすことがマンション防災の肝です。防災という『すべて参加できる人・すべて出来る人=100%の人』と考えがちですが、なかなかそういう人はいないですよね。でも、足りないものを補い合える30%ぐらいの人が3人いたら、100%以上になると思います。深く狭い少数より、浅く広い大人数で防災活動を行う方が、いざというときに助け合えると感じています。また、自分のマンションに足りない部分は、他の成功事例を真似てアレンジしていくのが成功への近道です。年齢や性別、経験を越えて、多様な人たちの価値観を受け入れる寛容さを持っていることもとても大切ですね。」



首都直下でマグニチュード7程度の地震の30年以内発生確率は70%程度とされています。近年では、豪雨災害も頻発しています。

今できることから始めてみる――。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受けて、自宅滞在時間が増えた人も多い時代です。家庭での防災活動(備蓄・家具転倒防止対策など)に加えて、お住まいのマンション防災について、ご近所様と今できることから「新しいこと」を始めてみませんか。

三田シティハウス防災blog

https://note.com/m_ch1080073

blog



Facebook



みなと BOUSAI 女子会 Facebook

https://m.facebook.com/minato.bousai.gi5/?locale2=ja_JP

みなと BOUSAI 女子会 とは

資格取得後3年以内の女性防災士が、自信を持って地域活動に参加するためのステップとして企画運営。

「私にもできるかも?」という自信を循環させることで港区の防災への貢献を目指して活動中。

◎三田シティハウス概要

平成 10 (1998) 年築
14 階建 180 世帯
居住者数約 460 名
24 時間管理体制



くほい ちせ
久保井 千勢 さん

三田シティハウス防災委員会委員長。
みなと BOUSAI 女子会リーダー。
防災士。

この街にこの人あり

ヴァイオリニスト
きしままゆ
木嶋 真優さん

ゴールのない世界を 常に邁進できる人に



白金台、八芳園にて

■ヴァイオリニストとして

ヴァイオリンを始めたのは何歳からですか？また、なぜ、ヴァイオリンという楽器を選んだのですか？

3歳半からです。母がピアニストだったので、ピアノ、ヴァイオリン、ソルフェージュ、クラシックバレエ、画などを習いましたが、ヴァイオリンを弾くことがとても好きだったので、ヴァイオリニストになりたいと思いました。

小さい頃は毎日、何時間位練習されましたか？練習がいやになることがありましたか？

毎日最低4時間が日課でした。遊びたい年頃なので、練習がいやになることが何度もあり、「母から毎日練習するのがいやなら、すぐにやめなさい。」と言われましたが、上達することが嬉しかったので続けました。

ヴァイオリンの上達のコツは？

小さい頃は絶対音感の発育と共に音程をとることから課題になるので、母が毎日ピアノの前に座り、一音一音一緒にチェックしてくれました。良い指導者の方々に恵まれたということ、母のみならず家族の協力があってだと思います。小学4年生の時、アメリカでジュリアード音楽院が主催するサマーキャンプに参加しました。ハイレベルの中で自由に学んでいる同年代の仲間に刺激を受けて、海外で音楽を学びたいという気持ちを強く持ちました。両親に相談しましたが、義務教育を終えるまでは日本で学び、音楽だけに偏らない人格形成が必要だと反対をされました。

将来、ヴァイオリニストになりたいと思ったのはいつ頃からですか？

7歳の時、五嶋みどりさんのレクチャーコンサートに参加しました。

五嶋みどりさんは、ヴァイオリニストとして高い評価を受けているだけでなく、音楽を通してチャリティー活動のための基金を開設し社会に貢献し、尊敬とともに、みどりさんのようなヴァイオリニストを目指したいと思いました。

13歳にして、ポーランドの国際コンクールで1位になった時、どんなお気持ちでしたか？

世界の舞台で評価され、これで両親から留学することの承諾を得られるかもしれないと思い、嬉しかったです。尊敬するザハール・ブロン先生に指導を受けたいという願いから、ケルンに留学することを決めました。そして両親と、中学校を日本とドイツを行き来して、義務教育を日本で終えるという約束をして承諾を得ました。

ドイツのケルンでの生活はいかがでしたか？お一人でしたか？

14歳の時、ケルンに留学しました。母もドイツに来てもらい一緒に生活しました。私はドイツ語ができなかったので、ヴァイオリンの練習とともに、夜遅くまでドイツ語の勉強をしました。かなりハードな生活でしたが、海外で留学している生活が楽しく辛い事も苦とも思わず勉強しました。

ブロン先生の指導はいかがでしたか？

ブロン先生のクラスには、世界中から優秀な生徒が集まっていました。レッスンは厳しく、次の日までにマスターする課題が毎日与えられました。課題がクリアできないと次の日のレッスンが受けられないのです。毎日のようにレッスンをして頂けるのは数人しか残れないような厳しい世界でした。

世界的チェロ奏者ロストロポーヴィチさんに見いだされたのですね。

ブロン先生から世界的に著名な音楽家ロストロポーヴィチさんに紹介され、オーディションに参加する為に、ウィーンの学友協会まで連れて行ってもらいました。

オーディションで演奏した翌日には、オーケストラ、ロストロポーヴィチさん指揮の世界ツアーのオファーを頂きました。そのお陰もありドイツ語、英語、ロシア語、フランス語がある程度出来るようになりました。言葉の発音、言語と音楽は深く結びついています。

好きな曲は多いと思いますが、特に思い入れのある曲はありますか？

ショスタコーヴィチのヴァイオリン協奏曲です。ロストロポーヴィチさんにこの曲を世界ツアーの中でレパートリーに入れるように言われ、ロンドンの彼の自宅で数日間特訓された思い出深い曲です。2016年上海アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクールで優勝した時はこの曲を演奏しました。

ヴァイオリニストとして、何が一番大切だと思いますか？

真の音楽家は技量のみではなく幼少期から人生を終えるまで音楽と向き合う長い音楽人生の中、人生経験の積み重ねが自分の音楽を深く、幅広くしてくれるもので音楽と共に、停滞することなく妥協せず常に探究心を持ちゴールのない世界を全身全霊邁進できる人だと思います。

これから目指すことは？

自分で作曲もしたいですし、様々なジャンルの音楽の方

とのコラボにも挑戦したいです。

コロナ禍で自分の音楽家としての存在意義を改めて考えるようになり、今年の3月11日にチャリティーオンラインライブを配信して被災児童自立支援のための団体に全額寄付をしました。それをきっかけに「木嶋真優基金」を設立したので、コロナ禍などの世界的なパンデミックや震災、被災地を助ける活動をしたいです。今まで私はたくさんの方々に支えられてきているので、コンサート活動とは別に、ライフワークとして継続していきたいと思っています。

■高輪地区について

高輪地区に住んで、どのような感想をお持ちですか？

高輪地区には2年ですが、港区には10年以上住んでいます。関西で幼少期を過ごし、ドイツ、フランスなど各国で生活しましたが、高輪地区が一番住みやすいと思っています。街がきれいで、緑も多いし、品川、羽田空港に近いのでとても便利です。ずっと、住み続けたいと思っています。

ご結婚されて生活の仕方は変わりましたか？

朝、夫婦でジョギングをしています。泉岳寺近くまで行くこともあり、爽やかで気分が良くなります。夫婦で共有する時間があるのが、一人暮らしの時と違いますね。近くのレストランにもよく二人で行きます。

コロナ禍で音楽活動は変わりましたか？

コロナ禍で去年半年くらいコンサートができなくなり、その時にヴィヴァルディの「四季」を新しいCDとして録音しました。コロナ禍でしか生まれなかった音が録音できたと思います。今は関係者の方々が試行錯誤して下さり、客席を減らすなどしてコンサートが戻ってきています。自分自身の音楽家としての役割、将来へのビジョン、音楽との向き合い方もゼロから見直し、再出発する良い機会に変えたいと思っています。

音楽以外にも、テレビの番組などでご活躍ですが。

テレビ番組に出て、様々な分野で活躍される方々とお会いして今まで音楽の世界にしかいなかった私にとって多くのことを学ばせて頂いています。メディアを通してクラシック音楽を普段あまり聞かない人たちにも、興味を持ってもらえるきっかけになればいいですし、SNS上ではじめてクラシックコンサートに行きました！など沢山お声を頂くようになり、とても嬉しいです。



プロフィール

2000年第8回ヴァイエニャフスキ国際ヴァイオリン・コンクール・ジュニア部門にて日本人として最年少で最高位を受賞。2011年ケルン国際音楽コンクールのヴァイオリン部門で優勝、2012年春にはケルン音楽大学を首席で卒業。同大学院を首席で卒業し、ドイツの国家演奏家資格を取得、2016年秋には神戸市より神戸市文化奨励賞を授与された。

2016年第1回上海アイザック・スターン国際ヴァイオリン・コンクールにて優勝。

レコーディングは、「アシュケナーズ&NHK交響楽団」の「ツィガーマ」に参加。2020年12月にはキングレコードより新譜CD「seasons」をリリース。

現在日本とヨーロッパに拠点を置き、リサイタル、オーケストラとの共演、室内楽など幅広く活動を行なっている。メディア活動での活躍も著しくテレビ番組やファッション誌、情熱大陸、しゃべくり007、NHK大河ドラマ 平清盛紀行、NHK紅白歌合戦など多数のテレビ番組に出演。

オフィシャル・ホームページ：<http://www.japanarts.co.jp/artist/MayuKISHIMA>

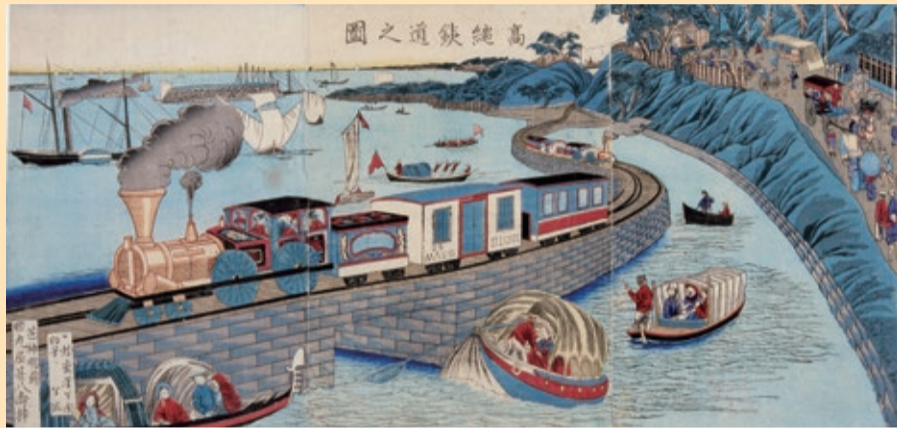
地域のあしあと 高輪築堤と品川開発プロジェクト ~ 過去から未来へ ~

高輪築堤は、明治5(1872)年、我が国初の鉄道が新橋~横浜間に開業した際、本芝から高輪海岸を経て品川停車場までの2.7kmの間、海上に線路を敷設するために築かれた鉄道建造物で、当時最先端の土木工事を駆使し、明治日本の近代化を象徴する遺跡として貴重なものとされています。JR東日本は、貴重な歴史的遺産である高輪築堤の一部を保存・公開しつつ、大規模な品川開発プロジェクトを進めることにしました。このページでは過去の高輪築堤建設の歴史と高輪築堤の保存・公開及び将来の品川開発プロジェクトについて紹介します。

1872年



明治の頃の高輪築堤 石積みが確認できる。〔芝区誌より〕



明治初期の浮世絵「高輪鉄道之図」(物流博物館収蔵) 海に築かれた堤の上を蒸気機関車が、煙を吐きながら走るさまが描かれている。堤には水路が設けられ、東京湾へとつながっている。岸辺を人や馬車が行き交う姿もあり、明治維新直後の日本の姿がしのばれる。

高輪築堤建設の歴史

明治新政府は、富国強兵政策を推し進め、鉄道開設を計画していた際、イギリス公使ハリー・パークスの進言によって、イギリス方式の敷設を決定した。新政府の中で、積極的に推進したのは大隈重信や伊藤博文らのいわゆる鉄道推進派の官僚であったが、国内で弾正台(後の司法省)や兵部省などの守旧派官僚が反対を表明していた。その先鋒は西郷隆盛・大久保利通・木戸孝允の維新の三傑。彼らは対外的軍備の充実こそが急務であり、貿易振興に果たす鉄道の機能は無用なばかりか、外国による侵略を容易にするものと考ええていた。

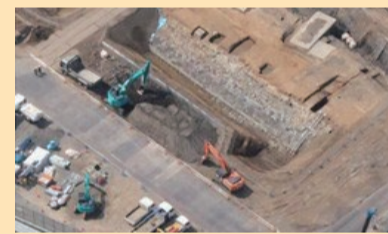
大隈や伊藤は、汐留から東海道に沿って市街地に線路を敷く計画を立てるが、芝田町の薩摩藩蔵屋敷を横切ることになり、西郷らが反対。兵部省の土地が八ツ山下にあったため、引き渡しを拒んだばかりでなく、測量なども妨害した。そこで、大隈らは海上に汽車を走らせることにした。築堤は我が国の在来技術と西洋技術の折衷を見ることが出来る貴重な鉄道建造物といえる。

参考文献
老川慶喜:日本鉄道史 幕末・明治篇
今尾恵介:東京の鉄道発達史
石井 満:日本鉄道創設史話
鉄道建設業協会編:日本鉄道請負業史

※新暦で表記しています。

明治2(1869)年
12月:鉄道建設決定
明治3(1870)年
4月:イギリス人技師長エドモンド・モレル来日。イギリス人たちの宿舎は高輪の松光寺であったという。
イギリス人技師が日本人技術者と測量を開始。
11月:平野弥十郎が八ツ山・御殿山の切り通し工事と高輪の埋め立て工事を請け負う。旧幕府の作事方で土木工事に長け、自ら工事現場に住み込む熱意と努力で工事に取り組む。平野の手記に「品川より高輪大木戸までの間、海中へ鉄道の土手築立、八ツ山より仮レールを敷き設け、馬車にて御殿山の土を運び送る。」とある。
平野弥十郎(文政6(1823)年~明治22(1889)年)
明治4(1871)年
夏:イギリスから機関車10両が届く。
11月5日:イギリス人技師モレル、結核で死去 享年30。誠実ですぐれた人モレルは鉄道建設に鋭意努力したが、完成を見ずに不帰の客となった。モレルを看病していた夫人(日本人)もまた同じ病気で死去、夫妻は横浜の外国人墓地に葬られた。
ところでお雇い外国人の指導のもとで測量などの作業に従事していた鉄道掛の役人たちは、いずれも羽織、袴に陣笠という出で立ちで、実地の活動には甚だ不便であった。井上勝(鉄道専門官僚)は早速、非常服あるいは筒そで股引着用を太政官に申告し、直ちに許可されたという。
明治5(1872)年
2月:西洋型木造橋の八ツ山陸橋完成
6月:品川・横浜間が仮開業(運賃、上等1円50銭・中等1円・下等50銭)
9月:高輪築堤が完成。東京湾は沿岸漁業が盛んで、堤防を築くと船の出入りができないので、堤防を四箇所で切り、船が通れるように工事した。
10月14日:明治天皇臨席のもと開業式挙行。

2021年



公園隣接部の様子(※)



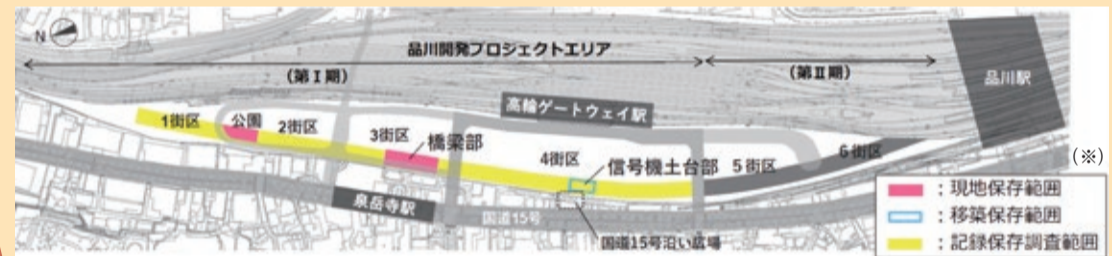
信号機土台の様子(※)



海側の石垣(※)



山側の石垣(港区教育委員会提供)



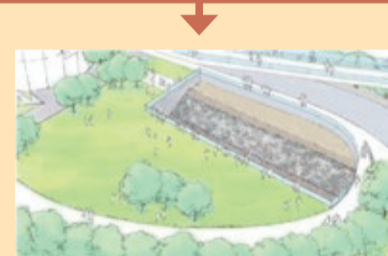
橋梁部の様子(※)

高輪築堤の保存

令和元(2019)年11月まで山手線と京浜東北線が走っていた線路跡から1km余りにわたり断続的に確認された。出土した約800mの遺構の保存について保存方針が次のように取り決められました。

- 現地保存
残存状況が良好である公園隣接部2街区約40mと橋梁部が含まれる3街区約80mを、そのままの場所で現地保存する。
- 移築保存
信号機土台部分が含まれる4街区約30mは移築保存とし、移築先は高輪ゲートウェイ駅前の国道15号沿いの広場を基本的に調整している。
- 記録保存
先述のほか、道路下などで土の中に埋めたまま現地保存できる範囲以外の部分は記録保存調査とし、調査範囲においては、詳細かつ慎重な調査を行うこととしている。

まちづくりの中で築堤を保存・活用するにあたり、まちづくり後には、VR(仮想現実)等の手段により当時の様子を立体的に体験できるような展示なども検討されている。



公園隣接部の現地保存のイメージ(※)



国道15号沿いの広場に移築保存した場合のイメージ(※)



3街区における橋梁部の現地保存のイメージ(※)

2024年度



高輪ゲートウェイ駅前の広場(※)



芝浦中央公園から見たイメージ(※)

品川開発プロジェクト(第I期) — 高輪ゲートウェイ周辺のまちづくり

- 都市計画決定とその変更
本プロジェクトは平成31(2019)年4月11日の東京圏国家戦略特別区域会議および平成31(2019)年4月17日の国家戦略特別区域諮問会議を経て、内閣総理大臣による認定(都市計画決定)を受けました。その後、高輪築堤遺跡が発見され、築堤遺跡を現地保存するため、令和3(2021)年、都市計画の変更を行う予定です。
- 第1期の全体計画と完成時期
全体は4街区から構成されており、各街区の建物の主な用途は次のようです。
1街区は高層住宅及びインターナショナルスクール、2街区は文化創造施設、3街区は高層の商業・業務施設、4街区の高層は北棟と南棟に分かれており、広場に面して一体の低層棟には商業・コンベンション等、高層の北棟には商業・業務施設等、南棟には業務施設・宿泊施設等となっています。第I期のまちづくりは令和6(2024)年度中を目途としています。
- 街全体のデザイン構想
街全体のデザインについては、以下の点をデザイン指針としています。
・各街区の複数建物を「日本列島の島々」に見立て、「アーキペラゴ(列島)」を創出
・かつて海岸線であった場所の記憶を想起させる滑らかな「フロー(流れ)」のような歩行者ネットワークを整備
・低層部は各建物の豊かな緑を連ねることで、都市に緑の丘を構築・高層部は頂部に統一した動きをつくり、分節で強調した建物コーナーを高輪ゲートウェイ駅前の広場や結節空間に向けて建物同士のつながりを持たせ、各建物が個性を持ちながらも「群としての一体感」を表現
・高輪ゲートウェイ駅前は、「エキマチー体まちづくり」の象徴として、和を感じられるデザインの駅と、緑豊かで滑らかな曲線を持つ4街区の建物によってつくり出される「360度の広場空間」を形成
- 4街区建物デザイン
街の中心となる4街区建物のデザインについては、建築デザイン事務所ピカード・チルトンとともにデザイン検討を進めています。4街区の建物については以下の3点をデザイン指針としています。
・象徴的なアイデンティティの創出
・ヒューマンスケールな空間表現
・海岸線を想起させる全体デザインに調和する『フロー』が生み出す良質な空間形成
- 地区内の移動
2階レベルで連続する歩行者空間を整備し、各街区の連絡を図るとともに、移動支援ロボット「ウィングレット」の導入を検討しています。
- 地域との交流
広場、公園でお祭り、盆踊りなど地域住民とともに地域イベントの開催を考えています。

(※) 画像提供: JR東日本

(担当/安藤、吉田、伊関、海野、姜、近藤、佐々木、澁谷)

施設訪問

4月オープン 「優っくり村高輪台」



「優っくり村高輪台」は、認知症対応型グループホーム・小規模多機能型居宅介護サービス・区民協働スペースの3事業を併設する施設で、今年4月に事業を開業した。高輪3丁目に位置する3階建ての建物は、落ち着いた色合いのこじんまりした印象だ。2つ隣りは東京高輪病院でバス停も近く利便性にも恵まれている。

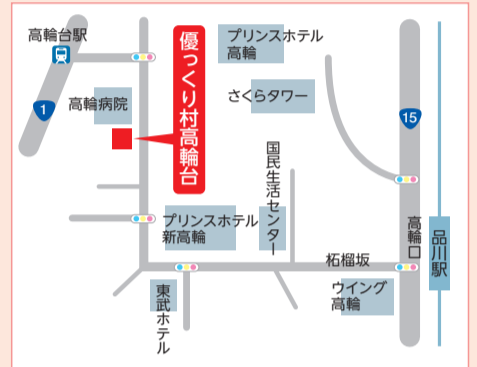
建物の中に入ると、手洗い検温等感染症対策を備えた受付があり、左側は区民協働スペース、廊下を進むと右側に多機能型浴室、左側にはお洒落なインテリアを備えた多目的室がある。

グループホームの管理を担う介護福祉士の杉本りなさんにお話を伺った。

優っくり村高輪台の運営方針は【「尊厳」と「自立」を支援し、自分らしく生き抜く!】。コンセプトは、「ゆっくり・一緒に・楽しく」で、亀のマークがシンボルマークとなっている。

所在地:

〒108-0074 港区高輪 3-10-16
 グループホーム TEL: 03-6456-3982
 小規模多機能 TEL: 03-6456-3912
<https://www.foryou.or.jp/facility/takanawadai/>



認知症対応型 グループホーム

3階と2階の一部を占めるグループホームは、認知症の診断を受けた方が家庭的な環境と地域住民との交流のもと自立した日常生活を送ることを目的としたもので、利用者さんの平均年齢は85歳、7割程が女性で、お元気で意欲的な方が多い。全室個室で定員は27名、4月時点で満室。



2階の西側部分が小規模多機能型居宅介護部門で、通所、宿泊、訪問の3つのサービスを柔軟に組み合わせながらお客様の「住み慣れた地域、自宅で暮らしたい」を支援する介護サービス。登録者定員は29名、4月時点で定員は埋まっている。

小規模多機能型 居宅介護サービス



区民協働 スペース

区と区民が協働(コラボ)して地域課題解決のための活動を行う区民団体が使用できるスペース。ここで近く開催予定の「オレンジカフェ」は、コロナ禍のもとオンライン開催になるもよう。

取材を終えて

平均年齢40歳代の若いスタッフ40名が新たな介護事業に力を合わせ頑張っていますと話して下さった杉本さん。お祖父さまの介護を経験されて迷いなく福祉の道に進まれたとのこと、爽やかな笑顔が印象的でした。

画像提供: 優っくり村高輪台
(担当/吉田、安藤、海野、佐々木)

地域からの 情報発信

須佐 直人さんに聞く 地域の素顔が伝わる情報を 足で稼ぐことが基本



白金タイムズのトップページ



白金タイムズ代表者 須佐 直人さん

■白金タイムズを始めたきっかけを教えてください

私は平成11(1999)年に白金に引っ越して来て、自宅でデザインの仕事をしていました。そこで、白金に住んでいるという話をお客様にすると「シロガネーゼ、高級住宅街、と言われることがとても多かったのですが、子育てがしやすく近場の方も凄く親しくしてくれる下町感覚な部分が白金にもあるということを知りました。そこで、ウェブサイトの仕事をしていたことを活かして情報発信をしていこうと思ったのがきっかけです。

■どのように情報を集めていますか

最初は自転車で掲示板を見てまわっていました。町会・自治会の小さなイベントを取り上げていくうちに、リアルな街の様子を伝えること

に魅力を感じるようになりました。さらに、活動を通じて出会った人にインタビューをすることで取材の幅を広げていきました。おかげさまで取材・撮影依頼がくるようになりました。

■反響はいかがですか

多くの人知っている情報ではなく、自分の足で集めた情報を基に記事を作成しているため、地域の人に興味をもってもらえます。

以前、小学校が廃校になる時に校舎のお別れ会に行き、その時の写真を掲載すると、「いいね」や「懐かしい」といったコメントが多く寄せられました。

■これから新たに挑戦したいことはありますか

今後は活動範囲を広げるとともに、音や映像で街の様子を伝える「動画」での発信にも力を入れていく予定です。

地域に特化した情報発信 ありのままの白金を紹介

情報発信の重要性が増している中で、白金地区に特化してSNSで情報の提供を行っているのが「白金タイムズ」。平成26(2014)年6月に開始され、白金エリアの商店街イベント、店舗、地域の祭りなどを随時紹介している。創設者である須佐直人さんが、本業であるウェブデザイナーの経験を生かして、取材・撮影・原稿作成・ホームページへのアップロードの全てをボランティアとして行い、見やすいサイトを作成している。さらに記事は、お店やイベントの紹介だけでなく、須佐さんご自身が気になった地域の活動、や白金地域にお住まいの方々の様子、を取材したものを記事にしている。白金タイムズは「白金の声」が聞こえてくるようなとても地域に寄り添った温かいサイトと評価されている。

(担当/野口、小泉、平尾、阿部、佐々木、本城)

子どもたちの
憩いの場

港区立高輪子ども中高生プラザ (TAP: たくさん遊べるプラザ)

高輪子ども中高生プラザは、0歳から18歳未満の子どもたちに遊び場と様々な活動を提供し、自主活動を支援することと幅広いニーズに対応していくことを目的として作られた施設です。

子どもたちの居場所として「安全・安心」を第一に考え、運営されています。乳幼児向けの親子プログラムによる子育て支援(1階子育て広場)や、体を動かすことだけでなく「文化・芸術」にも力を入れており、子どもの可能性を引き出すプログラムを企画・運営しています。

館長の高橋 宏巳さんと、エリアマネージャー(前館長)の綱中 建志さんにお話を伺いました。



◆お絵描きタイム(通称: Oekakiタイム)

(小学生対象・毎週火曜・当日参加可・造形大卒の職員が指導)

「お絵描きをテーマにした今までにないプログラムです。デッサンの練習を通して、子どもが将来の夢や自分のもつ新たな才能を発見する機会になればと取り組んでいます。地域の人向けの展示会も開催し、作品発表の場を設けていく予定です。」



小学2年生の作品(左: 下川原 杏莉さん、右: 山本 京佳さん)

◆音楽スタジオ(防音/写真右)や、ダンススタジオもあります。

(4階・中高生対象)

※現在はスタジオ機能を4階ホールに移しています。



◆コロナ禍で

昨年は緊急事態宣言を受けて6月末まで一般来館を中止しました。他の児童施設も閉まり、子どもたちの居場所がなくなってしまうという危惧から、「行事をやめるのではなくどうしたらできるか」ということをテーマに考えて常に工夫し、新しい取り組みを模索してきました。

例えば、1回の開催だった企画を3回に分ける、定員制を設ける、学童のおやつ時間を学年ごとで分ける、定期的な換気と消毒の徹底を図るなどの取組を現在でも欠かさず行っています。施設の利用者が戻るにつれ、「感染症対策が丁寧でありがたい」という声も聞かれているようです。このような、スタッフの方々の子どもたちへの思い、献身的な取り組みが、地域の皆さまに愛されている理由だと感じました。

◆みんなで軽食を食べる「ティーンズ食堂」

(中高生対象・無料・申込なし・月2回・当日参加可)

大変人気のプログラム。現在、調理・配膳は職員が行い、密にならないように感染対策を徹底。

※緊急事態宣言中は中止しています。



所在地:
〒108-0074 港区高輪1-4-35
TEL: 03-3443-1555

(担当/利光、安藤、池井戸、滝川)

私だって
地域の一員!

オーストラリアン・ラブラドゥードル シャロンちゃん

シャロン/メス/2才

飼い主: 西山 正弘さん・富美子さん 夫妻(三田4丁目在住)

西山夫妻の愛犬シャロンちゃんを取材しました。

オーストラリアン・ラブラドゥードルは、動物アレルギーを持つ人々の介助犬になることを最初の目的として、ラブラドル・レトリバーとプードルを主体に生み出された犬種です。サイズはミニチュア、ミディアム、スタンダードの3種類、毛色は約10色あります。一般的に、穏やかな性格で賢く、においや抜け毛が少ないという特徴があります。

この犬種は、テレビ番組「天才!志村どうぶつ園」や雑誌などで紹介されたことで、大人気となり、西山夫妻はインターネットでの申し込みを3度挑戦して、ようやくシャロンちゃんを手に入れることができたそうです。

シャロンちゃんは、サイズがミニチュアで、毛並みが美しく毛色はクリーム色です。人懐っこくとても穏やかで、我々編集委員にも優しく接してくれました。一方、活発な面もあり、ドッグランで走ることが大好きです。西山夫妻の傍らで、安心して暮らしている様子で、夫妻を心から信頼しているように感じました。三田、高輪あたりをよく散歩しているようで、運よく会えるかも知れませんね。



港区唯一の遺跡公園、三田台公園にて



走るのが大好きなシャロンちゃん

(担当/滝川、松本、利光)



買い物
するなら
地元の
商店街で

区からのお知らせ

都税事務所からのお知らせ

耐震化のための建替え又は改修を行った住宅（一定の要件を満たすもの）に対する固定資産税・都市計画税を減免します（23区内）。

減免の期間と額は、下記のとおり

- ・建替え：新築後新たに課税される年度から3年度分について全額減免（居住部分に限る。）。ただし、減免の対象となる戸数は、建替え前の家屋により異なる。
- ・改修：改修工事完了日の翌年度分から一定期間、居住部分で1戸あたり120㎡の床面積相当分まで耐震減額適用後の税額を全額減免。

減免を受けるには申請が必要です。詳細は、右記問合せ先へ。

問合せ先

港区にある物件について
港都税事務所
TEL：03-5549-3800（代表）



登記所備付地図作成作業のお知らせ

東京法務局では、下記作業実施地区において、公共基準点に基づく精度の高い地図（不動産登記法第14条第1項に定める地図）を作成します。地区内の土地の所有者様には、土地の境界確認の立会いなどに、ご理解とご協力をお願いいたします。

作業実施地区

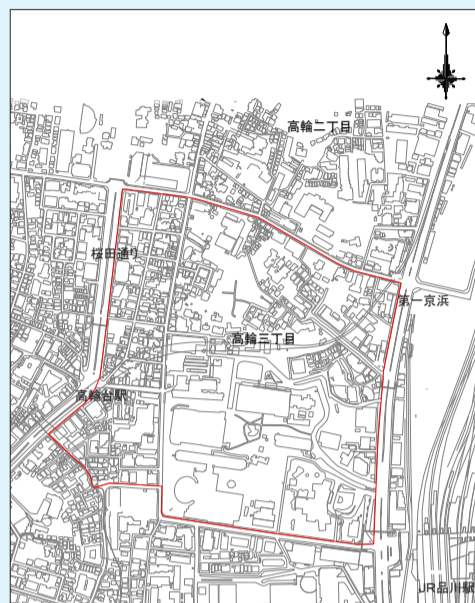
高輪三丁目の一部地区

作業期間

令和3（2021）年9月から
令和5（2023）年3月まで
詳細については、東京法務局
ホームページをご覧ください。
<http://houmukyoku.moj.go.jp/tokyo/>

問合せ先

東京法務局不動産登記部門
地図整備室
TEL：03-5213-1414（直通）



あなたのまちの町会・自治会で お手伝いしてみませんか？

町会・自治会は、住民の皆さんに一番身近な自治組織で、まちの防災、清掃、パトロール、お祭りなどを実施しています。

少しずつの参加で構いません。まちの安心・安全やコミュニティ作りのお手伝いに興味がありましたら、お気軽にご相談ください。

お住まいの地域の町会・自治会は、以下のQRコードからお調べいただけます。



問合せ先

高輪地区総合支所
協働推進課 協働推進係
TEL：03-5421-7621



老人クラブ加入のご案内

地域で新たな「輪」を広げてみませんか

老人クラブは、地域の高齢者（おおむね60歳以上）で構成された会員数30人以上の団体です。高齢者の生きがいと健康づくりを目的として、会員相互の親睦を深め、健康を増進する活動、生きがいを高める活動、さらに社会奉仕活動等を、いきいきプラザ等で行っています。老人クラブに加入して、地域で新たな「輪」を広げてみませんか。

申し込み

お住まいの地域で、加入できる老人クラブを紹介しています。加入を希望する人は、下記問合せ先に各老人クラブの連絡先をお問い合わせの上、直接お申し込みください。

費用

年額500円～2500円程度で、老人クラブごとに会費が定められています。

問合せ先

高輪地区総合支所
協働推進課 協働推進係
TEL：03-5421-7621



高輪地区の情報を広く発信していくため、高輪地区総合支所の公式ツイッターのアカウントを開設しました。高輪地区で開催されるイベントや地域のできごと、防災や環境美化など様々な情報をお届けします。ぜひフォローをよろしくお願いします！ ▶@minato_takanawa

高輪地区総合支所 ツイッター 検索



本紙のバックナンバーは港区ホームページ（高輪地区総合支所のページ）からもご覧になれます。

みなとっぴ バックナンバー

編集だより

※この情報紙は、区が公募し応募のあった地域住民と、区との協働でつくられています。

区民編集メンバー

- 安藤 洋一（チーフ）
- 吉田 由紀子（サブチーフ）
- 佐々木 智秋（サブチーフ）
- 阿部 泰
- 池井戸 晴美
- 伊関 則子
- 海野 晋
- 姜 明子
- 小泉 朱音
- 小林 由夏
- 近藤 悦代
- 澁谷 恵子
- 滝川 まりえ
- 玉城 由香
- 利光 明日香
- 野口 奈々穂
- 平尾 恭一
- 本城 凜
- 松本 昌大
- 吉村 和代

▶これまで高輪地区の歴史、自然、人、未来など地域の魅力を紹介してきましたが、紹介されていない魅力が多く残されていることを再認識しました。これからも地域の魅力を伝えていきます。（安藤）

▶150年の時をこえ出土した高輪築堤、大切に後世に継承していきたいですね。（吉田）

▶マンション防災活動で、ご活躍の方を取材し、とても参考になるお話を伺えました。その方とは数年ぶりの再会で、ご縁が繋がっていて、感謝の思いでいっぱいです。これからも地域でご活躍されている皆様を取材したいです。（佐々木）

▶「地域からの情報発信」を担当。取材で、伝典にある「一隅を照らす これ国宝なり」を想起しました。（阿部）

▶明治初期の築堤建設は、江戸時代を通じての日本の文化力、技術力の高さを物語るものであり、我々も誇りとするところである。ぜひ保存を！（伊関）

▶地域デビューをさせていただきます。コミュニティを回らせていくための知恵と情報。それがこの

マガジンの意味と感じました。（海野）

▶変わっていくもの、残っていくもの。愛する高輪の街をみなさまと一緒に感じていきたいと思えます。（姜）

▶今回初めて情報紙の作成に参加し、取材を通して親しみやすいとても素敵な街だと改めて感じました。（小泉）

▶防災には自助・共助・公助に加え、互助が大事だそうです。互助とは「顔の見える助け合い」。みなさんもマンション防災始めませんか？（小林）

▶今回より編集メンバーになりました。高輪地区にあるたくさんの魅力を、分かり易くお伝えしたいと思えます。（澁谷）

▶木嶋真優さん、聡明で強い意志をお持ちの方でした。インタビューに丁寧に答えてくださり、感謝です。いつか、高輪地区で演奏会をしていただけたことを願っています。（滝川）

▶様々な状況下、思うように活動出来ず心苦しくなる。しかし、100%で返せなくても受け入れてくれ

る。だから心が軽くなる。続けられる。私が住んでいたらきっとそう感じる防災取材でした。（玉城）

▶憧れだった地域の可愛いわんちゃんの記事ができ、癒されました。高輪子ども中高生プラザの記事では、コロナ禍で大変な中も、職員の皆様が子どもたちのために常に考え、工夫し献身的に取り組まれている姿にとっても感動いたしました。（利光）

▶何か地域のことに携わりたいと思い、みなとっぴの作成に参加しました。港区は自然や文化を感じられる魅力ある街です。取材を通して、様々な地域情報を知り、貴重な経験になりました。（野口）

▶多くの人の取材に同行しましたがどの人も多くの困難や課題に向って頑張り、夢を実現していることを痛感しました。素晴らしいと思いました。（平尾）

▶読者がこの地域の魅力を知り、よりこの地を好きになるような記事を皆さんに届けたく、編集に参加しました。（松本）

毎週水曜日は午後7時まで受付 ※取扱業務は限定されます。事前にご確認ください。区民課窓口サービス係 ☎5421-7612 / 保健福祉係 ☎5421-7085